

5月19日(金)晴れ無風

**北横岳ロープウェイ 坪庭 10:20⇒11:30 縞枯山展望台⇒12:15 茶臼山展望台⇒
14:20 五辻⇒14:50 ロープウェイ**

ホテルでメニュー豊富で美味しいバイキング朝食を済ませて 9 時にチェックアウト。北横岳ロープウェイを利用するため、ピラタス蓼科スノーリゾートに向けて車を走らせる。登山者はおろか観光客もまばら、静かな山行ができそうだ。

ロープウェイ降車後、坪庭を抜けて、縞枯山荘を横目に見やりしばらく歩くと分岐の雨池峠に到着する。今日も雪が多くぬかるんだところもありそうなのでスパッツを装着した。ここから縞枯山まで標高差 150m くらい、すべりやすい腐り雪の急坂を慎重に登っていく。

急坂を抜けると縞枯山山頂、眺望はほとんど無い。縞枯山とは、樹林が立ち枯れたところと生きているところが、数段の白い横縞模様をなしているところから名づけられている。縞枯現象といい、数百年の周期で世帯交代を繰り返して縞模様が変わっていくらしい。縞枯山山頂付近で写真撮影、老若交互でこちらも縞枯である。山頂から少し離れ道を外したところの展望台に立ち寄り景色を楽しんだ後、鞍部を経由して茶臼山に向かう。ここの坂道が凍結していてかなり滑るので慎重に足を運ぶ。

ほどなくして茶臼山に到着。この山頂も眺望がないが、数分西側に歩いた先に露岩の展望台があり絶景のパノラマが広がる。北には昨日登った蓼科山、南に目をやれば天狗岳、その先には硫黄・赤岳・阿弥陀岳と南八ヶ岳の面々が連なるのが見える。以前、次男と一緒に麦草峠から茶臼や縞枯に登ったことがあるが、ガスに包まれ真っ白で何も見えなかったもので、こんなに良い眺望が広がっているとは思わなかった。やはり山の楽しみの半分は天気次第だな。

帰りは近道で鞍部に戻って五辻経由と思っていたら、リーダーは麦草方面に進むとのこと。こちらも凍結の多い坂道を下って大石峠に出て、麦草峠への道と分かれる。途中、笹ヤブしか広がっていない、標識だけは立派なオトギリ平を経由する。出逢ノ辻から五辻までは北八ヶ岳らしい苔むした原生林、そのあとは伸びやかな笹原が広がっている。茶臼山からは登山者や観光客と出会うこともなく静かなハイクだ。最後は木道が続いた後、14:50 にロープウェイ駅に到着し 15 時の便に乗って下山した。

北横岳周辺というと、冬場のスノーハイクというイメージだったが、縞枯山や茶臼岳の展望台からのパノラマは素晴らしく春秋もお手軽で楽しめることがわかった。2 日間天気に恵まれて楽しい山行ができました。室 CL、皆さんありがとうございました。



ロープウェイ終着、坪庭から出発



縞枯山荘付近は伸びやかな草原地帯



雨池峠から縞枯山まで残雪多い



枯木と同化してるって？



昨日の女流カメラマン、サングラス紛失□



縞枯山展望台、眺望よし



本日のハイライト、茶臼山展望台



南ハヶ岳を眺めながらランチタイム（茶臼山展望台）



出逢ノ辻あたりかな、のびやか〜



北ハヶ岳は原生林とコケ、緑が美しい